

【市議会最前線】議会DXの推進～効率化と開かれた議会へ～＝大崎市(宮城県)

26/09/01 08:00 Nf1

宮城県大崎市議会では、議会改革の一環として、議会活動や運営の効率化を図るためDXを積極的に推進しています。本市議会におけるタブレット端末の導入によるペーパーレス化と、現在進めている新たなICTの取り組みについてご紹介いたします。

本市議会では、議会運営の効率化を図るため、令和2年11月にタブレット端末を導入しました。導入当初は、議員同士が操作を教え合うなどの研修を重ね、現在では全ての議員が基本的な操作を行えるようになりました。本会議や委員会を含む全ての会議を完全ペーパーレス化した他、執行部から提出されている各種計画書等についても電子化し、タブレットがあればいつでもどこでも確認できる環境を整えました。

また、会議の招集通知や連絡等についても、チャットツールを活用することで、迅速に情報を届けられる環境を整えました。議会スケジュールもwebのカレンダーで議員全員がリアルタイムで共有できるようになり、情報を迅速に取得できるようになりました。現在では議会活動において欠かせないツールとなっており、事務局の事務負担軽減にもつながっています。

令和7年度からは、議会運営のさらなる効率化に向けた新たな取り組みを展開しております。その一つとして、毎年実施している議会報告・意見交換会において、議員が各会場に出向いて行う従来の方法に加え、会場に来られない方のために一部の会場でオンライン視聴できるようにした他、オンラインのみでの報告会開催も試行的に取り入れました。市民が参加しやすい多様な形態を提供しており、今後の本格的な導入に向けて協議を進めております。



オンラインによる議会報告会を行う議員ら

また、議会の傍聴においては、議会フロアのWi-Fi環境整備に伴い、傍聴者へ配布していた資料のペーパーレス化(クラウド上からの閲覧)を実施すると共に、傍聴の申し込み手続きもオンライン化しました。さらに、議会での事務の効率化として、オンライン申請を導入し、クラウド上に専用の申請メニューを構築することにより、これまで紙やファイルで行っていた提出物の簡素化を図りました。これにより、遅刻・欠席等の届け出をはじめ、各種申請や通告の提出がオンライン上でスムーズに行える環境を整えた他、本年度からは、議員提出議案や一般質問のオンライン申請も開始しました。

大崎市議会は、今後もICT技術を最大限に活用し、社会環境の変化に柔軟に対応した議会運営と、より市民に開かれた魅力ある議会づくりに努めてまいります。(了)